

第 17 回リーディングセミナー オーガナイザー報告書

氏名・学年	江口 遼太・博士課程 2 年（獣医・薬理学教室）
開催日時/場所	2016 年 8 月 3 日 16:30/獣医学研究科講義棟 講堂
参加人数	院生 74 人、その他 11 人



講演タイトル	Regulation of brain functions by reactive astrocytes -Rewiring of neuronal network by astrocyte-mediated synaptogenesis-
講演者名	Dr. Schuichi KOIZUMI (小泉 修一先生)
職名/所属/国	Professor, Department of Neuropharmacology, Interdisciplinary Graduate School of Medicine, University of Yamanashi

招聘経緯・理由	招聘理由 1. 小泉先生は近年注目されているグリア細胞研究の第一人者である。様々な病態に関する基礎研究を行っており、基礎研究による One Health への貢献を考える良い機会になると思った。 2. 多くの共同研究や学会における活動を通して海外の研究者ともつながりがあり、グローバルな研究活動を行っている。 3. オーガナイザー（江口）の研究に関連する分野であり、個人的に興味があった。 招聘にあたって 招聘メールを送った際には全く面識はなかったが、翌日には快諾の返事を頂けた。小泉先生のレスポンスが早かったため、その後の日程調整やセミナーについてのやりとりも問題なくスムーズに行うことが出来た。
セミナー、質疑応答について	セミナー内容 セミナーは 2 部構成であり、前半ではアストロサイトの purinergic signaling による虚血耐性メカニズムについて講演頂いた。後半ではアストロサイトが脳の神経回路を再構築することで、神経因性疼痛を引き起こすメカニズムについて講演頂いた。 当日のプログラム進行 講演 70 分、質疑応答 20 分 質疑応答 病態におけるアストロサイトの活性化と、それに関与する細胞や分子について活発な議論が行われた。（日本人 4 名、留学生 1 名）
セミナー外の活動	・セミナー後の歓迎会・交流会
反省点・感想等	セミナーの反省点 セミナーは予定していた時間（質疑込みで 90 分）通りに進行し、講演内容も充実していた。やや講演時間が長いという意見もあったが、講演内容やこの機会の貴重性から考えても適切な長さだったのではないと思う。また今回のセミナーでは初めて講演に先立ってオーガナイザーによるスライドを用いたイントロダクションを行った。少し冗長になってしまったなど改善点はあるが、概ね参加者からも好評であり今後も継続していったよいのではないかと感じた。 セミナー運営を経験して 今回は講演者の先生のレスポンスが早かったためコミュニケーションに問題はなかったが、やはりコーディネーターには不足があり、先生方やリーディングオフィスの方々の助力を得ることで無事セミナーを終えることができた。異分野の学生が集まるリーディングセミナーだからこそ、運営側と講演者、そして参加者の全員にとってより良いセミナーを実施するための貴重な経験となった。講演頂いた小泉先生、多くのサポートを頂いた学生支援委員会の先生方、リーディングオフィスの皆様にご場を借りて御礼申し上げたい。

